

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の人数であれば適切だと思う。 ・雨の日はお庭が使えないので狭く感じるときもあるが、廊下も活動に使っている。 ・雨などで室内に集中する時は狭く感じる。 ・13～15人が室内(ホール)に集まると少し窮屈になってしまう日もある。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数1日12～13人くらいなら適切だと思う。 ・事務員がいるとお金の受け取りの際スムーズになると思う。 ・その日の品ずうなどにもよる。登園時など受け入れが集中する時は人員不足。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・全室バリアフリー化され適切だと思う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、話し合いを行っている。 ・職員会議等で各々の児童についての話し合いをしていると思う。 ・職員会議だけでなく日頃から職員で話し、都度改善している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に保護者と話をすることで要望等の把握を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公表している。公表については、どんぐり通信で保護者にお知らせをしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2		3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と施設内の評価のみ。今後については検討していく。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・今年はコロナの影響もあり研修に参加することができていない。 ・ケース会議や外部研修を取り入れている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの送迎時、お迎えに来た時等に話し合いをして作成していると思う。 ・送迎時に保護者と話し、計画に反映している。子どもたちにはお預かり時に話し、頑張りたいこと等を聞き取りしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて医療機関等の検査結果を用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・職員でその都度話し合って決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・常に工夫して計画していると思う。 ・職員でその都度話し合って決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・郊外で遊びや散歩をしている。 ・一人ひとりの計画に基づいた課題に取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・先生方で密に話し合い、打ち合わせや確認をしていると思う。 ・支援開始前、当日の職員で短時間でも報告、連絡、注意すべき事項等の打ち合わせがあったらいいと思う。 ・支援開始前に行くことが難しい場合は前日のうちに確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・退勤の時間がまちまちで全員では難しいと思うが、その都度気付いた点等は共有している。 ・退勤時間の都合で反省回答に参加できていないが、その日の出来事をメモで共有している。 ・ケース記録の入力時などに振り返りや気付きを話している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・記録を取り、支援の改善に繋げていると思う。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・6か月に一回モニタリングを行い、見直しをしている。 	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択の機会、お友達との関わり等を設けている。 	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校のお迎えの受け入れ時に教員に本日の様子を確認している。 ・学校の情報については“マチコミ”やお迎えに行った際に確認、対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・服薬をしている子には保護者から処方箋を頂いたり、保護者と情報共有をしたり等で対応。今後必要な時は主治医との連絡体制を整えていく。 ・今のところケアが必要な子はいない。今後利用となった場合は連携を行っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校等と情報を共有していると思う。 ・同法人の児童発達支援事業所を卒園した子が利用する場合がある。その際に情報の共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば担当者会議を行っている。同法人の事業所へ移行する場合に相談員を交えて情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士等に講演・助言していただく機会を設けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各自利用児が地域の活動に参加している。施設としては活動することができていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・お迎えの時に保護者に日頃の様子を伝えている。 ・送迎時に学校や活動の様子等、保護者へ直接お伝えしている。自主通園の子はお手紙やノートを通じて伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時などに対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・契約を行う際に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい環境だと思う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでなかなか実施できていないが、親子で参加する活動や行事等を企画している。今年度も保護者向け学習会を実施予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・苦情内容を職員に周知し対応していると思う。 ・全職員に改善策を周知させている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり通信を毎月出している。
	35	個人情報に十分注意している	7			<ul style="list-style-type: none"> ・細心の注意を払っていると思う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちとのコミュニケーションではジェスチャーや筆談等を行っている。子どもが自主登園し、なかなか保護者と話すことが難しい場合は保護者とノートやお手紙等で情報をお伝えしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は中止になってしまったが、あすなる園のお祭りに参加している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・やっていると思うがまだ経験していない。 ・研修の機会がコロナの為、企画・参画する機会がなかった。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・現在は該当する子はいないが、必要があれば対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・危険なことや怪我に繋がる恐れのある出来事等があったときはケース記録(事故記録)に記録をしている。打ち合わせやケース会議等で情報共有を行っている。 ・ケース記録等の申し送りでも共有している。 ・職員会議の中で話し合い、共有している。